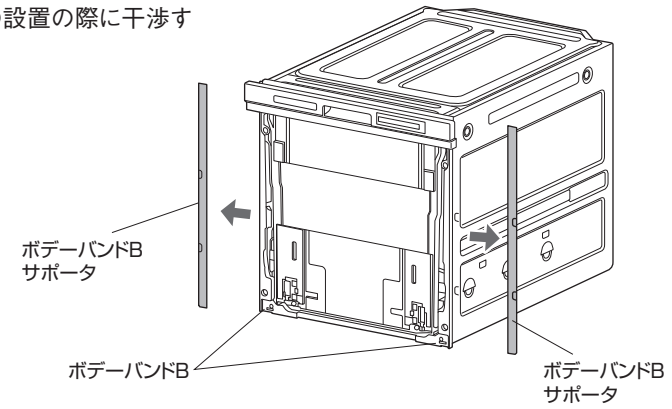
Q42 「ボデー枠着脱機構」とはどんなしくみのことですか？

A 下部収納キャビネットの側板の高さにかかわらず、本体の設置が容易になるよう、ボデーバンドの調整が簡単にできるようになりました。

従来一体型だったボデーバンドBを、着脱可能な「ボデーバンドBサポータ」と本体に固定された「ボデーバンドB」に分割。本体の設置の際に干渉する場合は簡単にカットしたり、取り外すことができます。



Q43 「ボデー枠着脱機構」の対応機種は？

A 9シリーズ（K9/M9/V9/R9）のミドルタイプに対応しています。

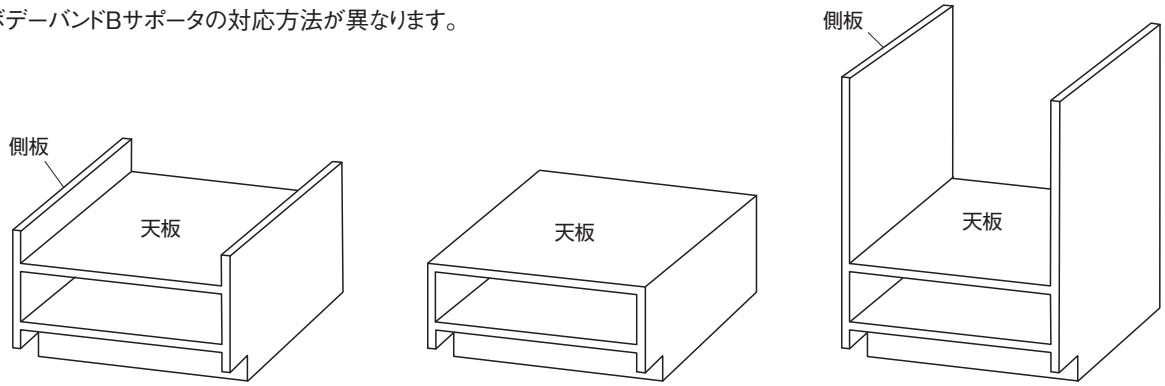
ディープタイプは基本的な構造が異なり、本体設置時にボデーBが干渉することはありません。

Q44 具体的な対応方法は？

A 下部収納キャビネット(置台)の側板の高さによって、大きく3つの対応パターンがあります。

●詳しい動画はこちらから

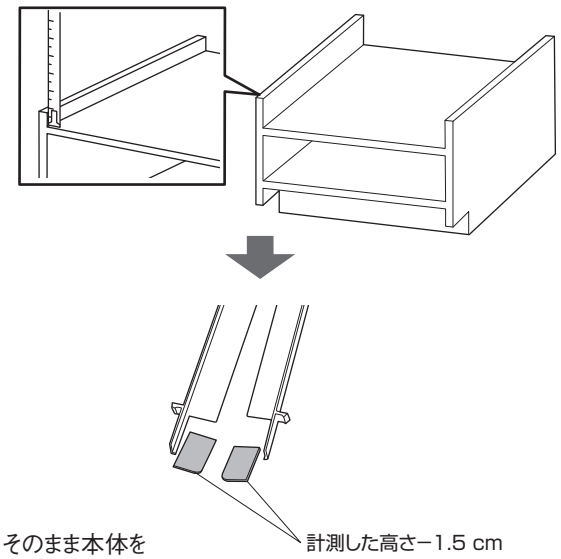
側板には以下のように「低い」「無し」「高い」の3種類があり、それぞれボデーバンドBサポータの対応方法が異なります。



A 側板が低い　B 側板無し　C 側板が高い

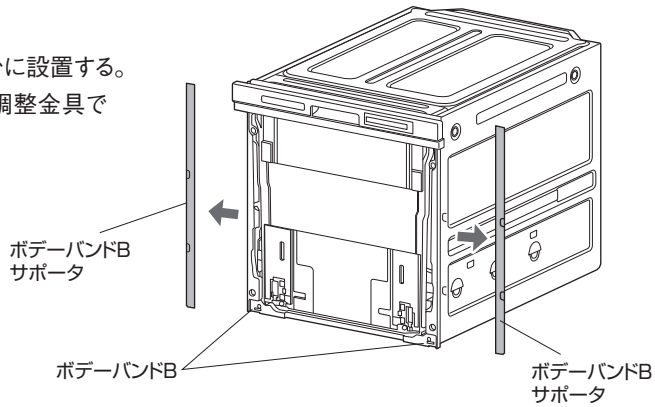
A. 側板が低い場合

① 側板の高さを計測する。
② 左右のボデーバンドBサポータを取り外し、「計測した高さー1.5 cm」分を、ボデーBバンドサポータ下部から切り取ります。
③ ボデーバンドBサポータを元の位置に戻し本体を置台に設置します。
※ボデーバンドBサポータを切り取らずに設置すると、調整金具での後方向の調整ができなくなります。



B. 側板無しの場合

① 左右のボデーバンドBサポータを取り外す必要はありません。そのまま本体を置台に設置します。

C. 側板が高い場合

① 左右のボデーバンドBサポータを外して、本機を置台に設置する。
※ボデーバンドBサポータを切り取らずに設置すると、調整金具での後方向の調整ができなくなります。